



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月6日

上場会社名 株式会社 ユー・エス・エス 上場取引所 東・名
 コード番号 4732 URL http://www.ussnet.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 安藤 之弘
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役統括本部長 (氏名) 山中 雅文 TEL 052-689-1129
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 平成24年12月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	30,944	△1.6	14,052	5.5	14,256	6.3	8,759	10.4
24年3月期第2四半期	31,438	3.3	13,314	10.5	13,416	10.7	7,932	17.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 8,678百万円 (9.6%) 24年3月期第2四半期 7,919百万円 (16.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	325.42	324.78
24年3月期第2四半期	278.93	278.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	144,066	113,968	78.8
24年3月期	154,639	121,097	78.0

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 113,469百万円 24年3月期 120,582百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	110.00	—	134.00	244.00
25年3月期	—	161.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	140.00	301.50

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 2. 平成25年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 131円50銭 記念配当 30円00銭

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,200	0.3	29,000	3.7	29,250	2.3	17,950	5.2	678.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
 詳細は(添付資料)P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	31,325,000株	24年3月期	31,325,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	5,517,701株	24年3月期	4,128,021株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	26,916,450株	24年3月期2Q	28,439,286株

(注) 平成24年3月期の期末自己株式数には119,980株、平成25年3月期第2四半期の期末自己株式数には107,880株、U S S従業員持株会専用信託が所有する株式が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
4. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の国内自動車流通市場は、昨年12月から本年9月まで実施された政府の経済対策であるエコカー補助金制度の効果等により新車購買需要が喚起され、新車登録台数は2,590千台（前年同期比33.5%増）となりました。中古車流通市場は、好調な新車販売を受け、新車買い替え時の下取り車が増加したことなどから中古車登録台数は3,276千台（前年同期比7.6%増）となりました。（（社）日本自動車販売協会連合会、（社）全国軽自動車協会連合会調べ）

この結果、オートオークション市場全体の出品台数は3,616千台（前年同期比17.3%増）、成約台数2,033千台（前年同期比6.8%増）、成約率は56.2%（前年同期実績61.8%）となりました。（月刊ユーストカー調べ）

このような経営環境の中、U S Sグループの当第2四半期連結累計期間における経営成績は、中古自動車等買取販売事業の減収などが影響し、売上高は30,944百万円（前年同期比1.6%減）と減少したものの、営業利益は14,052百万円（前年同期比5.5%増）、経常利益は14,256百万円（前年同期比6.3%増）、四半期純利益は8,759百万円（前年同期比10.4%増）となり、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに過去最高益を更新しました。

オートオークション

前年同期は、東日本大震災やタイの洪水の影響による新車販売の落ち込みにより出品台数が大幅に減少したのに対し、当第2四半期連結累計期間は、エコカー補助金制度の実施により新車買い替え時の下取り車両が増加したことなどの影響もあり、出品台数は1,119千台（前年同期比9.1%増）、成約台数は678千台（前年同期比1.7%減）、成約率は60.6%（前年同期実績67.3%）となりました。

売上高は、出品台数の増加に加え、外部落札比率の上昇や外部落札システムにおける落札手数料の値上げ実施による影響などにより手数料収入が増加し、営業費用は減価償却費が大幅に減少しました。

この結果、オートオークション事業は、外部顧客に対する売上高22,579百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益13,796百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」、事故現状車買取販売事業ともに、前年同期と比較して、買取台数が大幅に減少したことに加え、台当たり粗利益も減少したことから減収減益となりました。

この結果、中古自動車等買取販売事業は、外部顧客に対する売上高5,580百万円（前年同期比15.1%減）、営業利益196百万円（前年同期比53.4%減）となりました。

その他

廃自動車等のリサイクル事業は、廃自動車の取扱台数は増加しましたが、金属相場の下落傾向が続き、労務費、経費も増加したことなどから大幅な減収減益となりました。

廃ゴムのリサイクル事業は、カラー着色の弾性舗装用ゴム製品や踏切用ゴムマット等の取扱量は増加しましたが、営業費用の増加などにより増収減益となりました。

中古自動車の輸出手続代行サービス事業は、順調に取扱台数が増加し、営業利益を確保しました。

この結果、その他の事業は、外部顧客に対する売上高2,784百万円（前年同期比0.6%増）、営業損失3百万円（前年同期実績 営業利益18百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は144,066百万円となり、前連結会計年度末と比較して10,573百万円減少しました。これは、現金及び預金が8,400百万円減少したことや、有形固定資産が2,108百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は30,097百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,443百万円減少しました。これは、未払法人税等が1,603百万円減少したことや、自動車税預り金の減少などにより流動負債のその他が1,521百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は113,968百万円となり、前連結会計年度末と比較して7,129百万円減少しました。これは、利益剰余金が5,113百万円増加したのに対し、自己株式の取得などにより自己株式が12,156百万円増加したことなどによるものであります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して2,300百万円減少し、26,240百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は7,945百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益14,250百万円（前年同期比6.1%増）、減価償却費及びその他の償却費1,710百万円（前年同期比14.5%減）、法人税等の支払額6,941百万円（前年同期比21.1%増）によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は5,857百万円となりました。これは主に、定期預金の純増減による収入6,100百万円（前年同期実績 純増減による支出3,000百万円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は16,103百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出12,309百万円（前年同期比94.5%増）および配当金の支払額3,644百万円（前年同期比24.6%増）によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間は、中古自動車等買取販売事業において買取台数が大幅に減少したことなどにより、売上高は前回公表（平成24年5月8日発表）の連結業績予想を下回りましたが、販売促進費などの営業経費の見直しなどにより、営業利益、経常利益、四半期純利益については僅かに予想を上回る結果となりました。

下期予想につきましては、ほぼ前回公表した下期の計画から変更はなく、通期の出品台数は2,265千台（前回公表2,300千台）、成約台数は1,400千台（前回公表と同じ）、成約率は61.8%（前回公表60.9%）としております。

この結果、連結業績予想につきましては売上高64,200百万円、営業利益29,000百万円、経常利益29,250百万円、当期純利益17,950百万円を予想し、平成24年5月8日に公表いたしました通期の連結業績予想との差異は以下のとおりとなります。

（通期）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表資料 (A)	65,000	29,000	29,250	17,950	657.10
今回修正予想 (B)	64,200	29,000	29,250	17,950	678.52
増減額 (B-A)	△800	—	—	—	
増減率 (%)	△1.2	—	—	—	
前期実績	64,009	27,952	28,588	17,054	609.24

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、原則として、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社および連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,840	28,440
オークション貸勘定	11,635	11,345
受取手形及び売掛金	2,734	2,371
有価証券	100	425
たな卸資産	962	884
その他	1,522	1,680
貸倒引当金	△63	△58
流動資産合計	53,731	45,088
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,762	28,715
土地	58,873	58,183
建設仮勘定	9	17
その他（純額）	2,328	1,949
有形固定資産合計	90,974	88,865
無形固定資産		
のれん	17	23
その他	847	787
無形固定資産合計	865	811
投資その他の資産		
投資その他の資産	9,156	9,384
貸倒引当金	△87	△84
投資その他の資産合計	9,068	9,300
固定資産合計	100,908	98,977
資産合計	154,639	144,066
負債の部		
流動負債		
オークション借勘定	13,154	13,232
支払手形及び買掛金	560	479
短期借入金	93	93
未払法人税等	5,900	4,296
引当金	534	515
その他	6,083	4,561
流動負債合計	26,326	23,179
固定負債		
長期借入金	1,174	1,027
引当金	155	54
資産除去債務	683	683
その他	5,202	5,153
固定負債合計	7,215	6,918
負債合計	33,541	30,097

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	18,972	18,957
利益剰余金	115,066	120,180
自己株式	△27,110	△39,267
株主資本合計	125,809	118,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93	37
土地再評価差額金	△5,320	△5,319
その他の包括利益累計額合計	△5,227	△5,281
新株予約権	230	237
少数株主持分	284	260
純資産合計	121,097	113,968
負債純資産合計	154,639	144,066

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	31,438	30,944
売上原価	13,084	12,311
売上総利益	18,353	18,632
販売費及び一般管理費	5,039	4,580
営業利益	13,314	14,052
営業外収益		
受取利息	23	6
不動産賃貸料	85	201
雑収入	85	99
営業外収益合計	195	306
営業外費用		
支払利息	2	3
不動産賃貸原価	8	32
複合金融商品評価損	72	54
雑損失	8	12
営業外費用合計	92	102
経常利益	13,416	14,256
特別利益		
固定資産売却益	29	10
特別利益合計	29	10
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	7	16
その他	1	—
特別損失合計	8	17
税金等調整前四半期純利益	13,436	14,250
法人税等	5,506	5,515
少数株主損益調整前四半期純利益	7,930	8,734
少数株主損失(△)	△1	△24
四半期純利益	7,932	8,759

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,930	8,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	△56
その他の包括利益合計	△11	△56
四半期包括利益	7,919	8,678
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,921	8,702
少数株主に係る四半期包括利益	△1	△24

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,436	14,250
減価償却費及びその他の償却費 のれん償却額	2,000 45	1,710 △6
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	61	△19
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	38	△101
受取利息及び受取配当金	△31	△13
支払利息	2	3
複合金融商品評価損益 (△は益)	72	54
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△21	6
オークション勘定の増減額	1,068	367
売上債権の増減額 (△は増加)	456	363
仕入債務の増減額 (△は減少)	△166	△80
預り金の増減額 (△は減少)	△853	△1,002
その他	△253	△647
小計	15,853	14,875
利息及び配当金の受取額	30	15
利息の支払額	△2	△3
法人税等の支払額	△5,730	△6,941
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,150	7,945
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△3,000	6,100
有形固定資産の取得による支出	△300	△254
有形固定資産の売却による収入	57	21
無形固定資産の取得による支出	△61	△73
投資有価証券の取得による支出	△157	—
投資有価証券の償還による収入	—	100
長期前払費用の取得による支出	△6	△7
関係会社株式の取得による支出	△268	—
その他	1	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,734	5,857
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△99	△146
預り保証金の預りによる収入	117	119
預り保証金の返還による支出	△46	△38
自己株式の取得による支出	△6,328	△12,309
自己株式の売却による収入	—	101
配当金の支払額	△2,924	△3,644
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△163	△186
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,445	△16,103
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,029	△2,300
現金及び現金同等物の期首残高	29,280	28,540
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,251	26,240

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

自己株式の取得

当社は、平成24年8月27日開催の取締役会において自己株式を取得することを決議し、普通株式1,410,000株を取得いたしました。

この自己株式の取得等により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が12,156百万円増加しております。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨン	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,094	6,574	28,669	2,769	31,438	—	31,438
セグメント間の内部売上高または振替高	246	0	246	1	247	△247	—
計	22,341	6,574	28,915	2,770	31,686	△247	31,438
セグメント利益	12,810	422	13,232	18	13,251	62	13,314

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビヅの廃自動車等のリサイクル事業と株式会社U S S東洋の廃ゴムのリサイクル事業および株式会社U S Sロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業であります。

2. セグメント利益の調整額62百万円には、セグメント間取引消去61百万円、のれんの償却額1百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨン	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売 上高	22,579	5,580	28,159	2,784	30,944	—	30,944
セグメント間の 内部売上高また は振替高	223	0	223	1	225	△225	—
計	22,802	5,580	28,383	2,786	31,169	△225	30,944
セグメント利益ま たは損失 (△)	13,796	196	13,993	△3	13,989	63	14,052

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビヅの廃自動車等のリサイクル事業と株式会社カークエストの廃ゴムのリサイクル事業および株式会社USSロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業であります。

なお、株式会社USS東洋は平成24年2月1日付で株式会社カークエストを吸収合併し同日付で株式会社カークエストに商号変更いたしました。

2. セグメント利益の調整額63百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	24年3月期	25年3月期		
	第2四半期	第2四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	314	309	△1.6	642
営業利益	133	140	5.5	290
経常利益	134	142	6.3	292
当期純利益	79	87	10.4	179

(2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	24年3月期	25年3月期		
	第2四半期	第2四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	56	59	6.2	121
成約手数料	53	52	△2.6	108
落札手数料	72	75	3.5	156
商品売上高	4	3	△16.5	5
その他の営業収入	33	34	2.7	70
オートオークション計	220	225	2.2	461
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	44	39	△10.8	83
事故現状車買取販売	21	16	△23.8	36
中古自動車等買取販売計	65	55	△15.1	120
《その他》				
廃自動車等のリサイクル	22	19	△10.8	42
廃ゴムのリサイクル	5	5	7.9	13
中古自動車の輸出手続 代行サービス	0	2	1,998.9	4
その他計	27	27	0.6	60
合計	314	309	△1.6	642

(3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	24年3月期	25年3月期		
	第2四半期	第2四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	3	3	△10.1	40
完工ベース	4	3	△20.0	10
減価償却費	19	16	△15.1	35